

---

# SEEK !

嵯峨野 鷹也

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

SEEK!

### 【Nコード】

N1895V

### 【作者名】

嵯峨野 鷹也

### 【あらすじ】

「富士山……見たこと無いんだよね、俺。運が悪くて」 友達に何とか富士山を見せてやりたいと思って悪戦苦闘。はたして、運の悪さに彼らは勝つことが出来るでしょうか……。アマチュア自主制作ビデオ用に書いた低予算映画脚本です。

## （前書き）

発注者「ホームビデオで作れるような脚本が要るんだ。衣装とか凝ると大変だから  
普段のカッコのまま撮れるやつ。オープニングは演じる奴のアップ  
トではじまる。

部屋の中でじっくりと話し合ってるシーンが欲しい。車も登場させるよ。運転してる所がいいや。ただしカースタントとか交通事故ネタは駄目だぞ。電話で話してる

シーンも出したい。空とか山とかを見てサッパリするシーンも。雨のシーンも欲しい

いな。長いのは大変だから時間は10分以内で。キャストは多いと大変だから二人

くらいでいい。ただし老人や子供は駄目だぞ。それと、格闘とかスタントとか

危険なのも大変だからなしでいい。喧嘩とかも暴力は一切だめ。スポーツとかも

大変だからなしでいい。恋愛シーンは女優の確保が大変だからなしでいい。酒飲んで

だりメシ食ったりとかも大変だからなしでいい。大金かけると大変だから予算は

5万円以下でいい。それで、誰が見ても感動して、笑いと詩情があって、ちゃんと

ストーリーとヤマ場があつて、これまでになかったようなドラマチックな話を頼む」

僕「…（絶句）… いったいどんなストーリーができるんだ、その条件で？」

発注者「アイディアは俺が出したんだから、ストーリーはお前が考

えろよ。いいか、  
パッパツと書いてくれ。」

僕「……………」（心の声：アイディアじゃなくて、制約というんだ  
よ、そんは…！（涙）」

こんなイキサツで書いたものの、なんとか書きあがって渡してか  
らまた

発注者「おばあちゃんとこたつでお茶を飲みながら話をするシーン  
も入れてくれ。」

都電に乗るシーンも。川岸を散歩しているシーンも入れてくれ。そ  
れからロケは

大変だから温泉町はカット。最後の駅のシーンもカット。富士山も  
カット。それと

雨はやっぱりカット。e t c , e t c . . . 」

という追加注文が来てキレてしまい、不採用になった物語です。す  
ごく苦勞して

考えたのに勿体無く、自主映画でなくてもいいから何かに使ってく  
れる人がいない

ものかと思っております。（^^；

（つか、なにも山梨や静岡にロケしなくても、見えるところに住ん  
でる人や

現地に行く人に富士山と道路標識の映像だけ撮ってきて貰えば、温  
泉町や駅なん

かは看板と浴衣だけ用意すれば全部近所で撮れるようにと書いたの  
にい……………

低予算の自主製作ビデオをTVドラマよりコストのかかるオール現  
地ロケで作る

やつがあるかあっ！（涙＋絶叫）

<登場人物>

B A

(1) アパートの部屋

壁に、富士山の写真。

AとBの二人。

A、TVを見ている。

B、富士山の写真を見ている。

B「富士山か…」

A「それがどうかしたのか？」

B「俺、直接見たことないんだよね。」

A「えっ？ 見たことないの？」

B「うん。いつも運が悪くて。」

A「晴れた日には、首都高速とか荒川土手からでも見えるぜ？」

B「見える日に行けたことがないんだ。」

A「東海道か甲州街道を車か電車で行けば…」

B「それも、たいてい雨の日さ。」

黙ってしまうA。

B「見てみたいなあ、富士山…」

(2) タイトル

タイトル「SEEK！」

(3) アパート

A、電話をかけてる。

A「今日はよく晴れてるから、首都高速の荒川土手あたりから富士山が見えるぞ」

Bの声「…今日、バイトでさ。」

A「…そっか。」

(4) アパート(夜)

A、電話をかけてる。

A「ちよつと電車で静岡まで行くんだけど、付き合わねえか？ 窓から富士山が見えるはずだ。」

Bの声「…行つて見ようか。」

(5) 都内の駅

水たまりにざああと吹き込む雨。

天気予報の声「日本列島を発達した低気圧が覆い、全国的に雨模様となるでしょう。」

(6) 都内の駅のホーム

天気予報の声でつなぐ。

ぼーっつと空を見てるA、B。

(7) アパート

A「こうなったら、意地でもおめえに富士山を見せてやる。」

B「大丈夫かよ、そんな約束して？」

A「おう。今度の週末、車で山梨に行こう。」

B「また雨が降るんじゃないかな」

A「天気予報だと、日曜日は降るけれど土曜日は行楽日和だそうだ。」

B「よし、じゃあ行くか。」

(8) 道路

渋滞中。

(9) 車の中

ラジオの声「くより、渋滞20km。以上、道路  
情報でした。では、音楽をお楽しみくださ  
い。」

A「…渋滞かよ。」

B「夜までに着けるかね?」

(10) 山梨県の温泉町(夜)

車が走ってくる。

(11) 宿の部屋

A「せっかく来たのに、明日は早帰りか…」

B「明日も雨だっていうしな。」

A「やれやれ…富士山はやっぱだめか。」

B「もう、一生見れないのかなあ」

A「ま、温泉でのんびりできるだけでもよし  
としろよ。」

黙ってしまうB。

(12) 外(朝)

植木にふりかかる雨。

(13) 運転席

A「忘れ物ないな。」

B「おう。」

A「じゃ、帰るか。」

(14) 田舎の国道

田んぼ(または川)に雨が降っている。

(15) 運転席

不機嫌そうなAとB。

A「こんなところでエンコたあ…このポンコツめ！」

B「JAF、早く来てくれないかな…」

A「もう一回電話してみろよ。」

B、携帯を取り出してなんとかボタンを押すが

B「だめだ。電池が切れちゃった。」

絶望的な溜息のA。

しばらく沈黙。

B「雨が…小降りになってきたのだけが救いかな。」

(16) 田舎の駅前の電話ボックス

B「はい、すみません。なんせ古い中古車ですから、修理にまだ何時間もかかるそうです。電車で帰りますけども、ちよつと間に合いそうにありません。すみません、すみません(ペコペコ)」

(17) 田舎の駅前

A「地面も乾いてきたか…」

雨はあがってる。A、ぶらついている。ふと顔を上げて

A「あっ！」

(18) 田舎の駅前の電話ボックス

電話を終えて出てくるB。

B「どうした？」

(19) 田舎の駅前

A、指差す。

B、そっちを見る。

(20) 富士山の遠景

富士山の遠景。

(20) 田舎の駅前

AとB、どちらからともなくパン！と  
手を叩きあわせる。

ストップモーション

F・O・

エンディング

- 終 -

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n1895v/>

---

SEEK!

2011年10月9日11時17分発行